

第2学年 English Time 学習指導案

日 時：令和4年10月11日（火）朝の時間

児童数： 男子15名、女子12名、計27名

指導者： 教諭 勝井 大輔

ALT Christina Higgins

1 本時の活動(3/3)

(1) 目標

スポーツの英単語を使ったゲームを楽しむ。

(語彙：baseball, soccer, volleyball, basketball, dodgeball, tennis, badminton
Table tennis, swimming, kendo)

(2) 授業の視点

Activity①においてペアで発声し合う活動を十分にすることで、Activity②でペアが変わっても自信をもって発声することができ、楽しく活動ができるであろう。

(3) 展開

過程 分	児童の活動 学習活動	支援及び指導上の留意点		備考
		HRT	ALT	
Warm up ②	1. Greeting あいさつをする。 “Hello, Christina 先生” “How are you? Christina 先生”	○一緒にあいさつをする。 ○一緒に気分をたずね合う。 ○ジェスチャーを交えてゆっくり話す。	○ あいさつをしたり、気分をたずねたりする。 ○ ジェスチャーを交えてゆっくり話す。	
Main act 1 ⑤	2. Goal めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Today's Goal: スポーツの名前の言い方をつかって、ゲームを楽しもう。 Clear voice Gesture </div> 3. Activity① ラッキーカードゲームをする。	○黒板にめあてを示す。 ○黒板に絵カードを貼る。 ○前時までにいったルールの確認をする。	○語句の発音のお手本をする。	めあての紙 絵カード 児童用絵カード 【評価】
Main act 2 ⑦	4. Activity② 以心伝心ゲームをする。	○デモンストレーションを行い、ゲームの進め方を示す。 ○児童の活動を観察し、よいところを賞賛する。	○一緒にデモンストレーションをする。 ○児童と一緒に活動し、一緒に楽しむ。	【評価】
	①歩き回ってペアを見つけ、あいさつをする。” Hello!” ②今日の語句から、相手が言いそうなものを考える。 ③同時に言う。” 1, 2, ~~~.” ④相手と同じだったら、(エア) ハイタッチをする。” Yeah!” ⑤お礼を言って、また次の相手を探す。” Thank you! Good bye!”			

Looking back ①	<p>5. Looking back 振り返りをする。</p> <p>○いろいろな単語を言えたかを振り返る。</p>	<p>○ゲームの中でハイタッチできたかを振り返る。</p> <p>○Clear voice、Gesture、いろいろなスポーツを言えたか、楽しく活動できたかを挙手で振り返る。</p>	<p>○今日よかったところを、一言評価する。</p>
	<p>6. Good bye 終わりのあいさつをする。</p> <p>“Thank you Christina 先生” “See you next time.”</p>	<p>○一緒にあいさつをする。</p>	<p>○一緒にあいさつをする。</p>

(4) 評価

スポーツの英単語を用いて、楽しく活動していたか。(観察)

2 授業考察

(1) 授業の視点

- Activity①においてペアで発声し合う活動を十分にすることで、Activity②でペアが変わっても自信をもって発声することができ、楽しく活動ができるであろう。

(2) 授業研究より (成果や課題をまとめてください。)

- 低学年から Classroom English を積極的に活用していることで、スムーズに活動に取り組んでいる。
- 低学年から英語に触れていることで、意識していなくても発音が上手だった。
- コミュニケーションポイント、特にアイコンタクトが上手にできていた。難しさや恥ずかしさが少ない低学年のうちに、当たり前になるようになっておくと今後も良い。
 - コミュニケーションポイントは敢えて示さずとも当たり前にできていた。ゲームごとに一つずつに絞るか、隅に掲示しておくだけでも良いのかもしれない。
- 単元を通して Activity①を統一していたことで、スムーズに活動に移行できた。
- Activity②は、様々な単語を発声するのに適していた。学級開き直後でも楽しめる。
 - 低学年では、Demonstration の後に日本語でのルール確認が必要な場面もある。

(3) 今後の課題 (次年度に向けての課題を書いてください。)

- 低・中・高学年のそれぞれで、English Time の意味合いは変わってくる。そもそもの位置づけを考える必要がある。そして、低学年においては以下を考える必要がある。
 - 15分間しかない活動の中で、そもそも Today' s goal を示す必要があるのか。
 - コミュニケーションポイントをあえてめあてにするより、活動しながら良いところを褒めていく方が良いのではないか。

